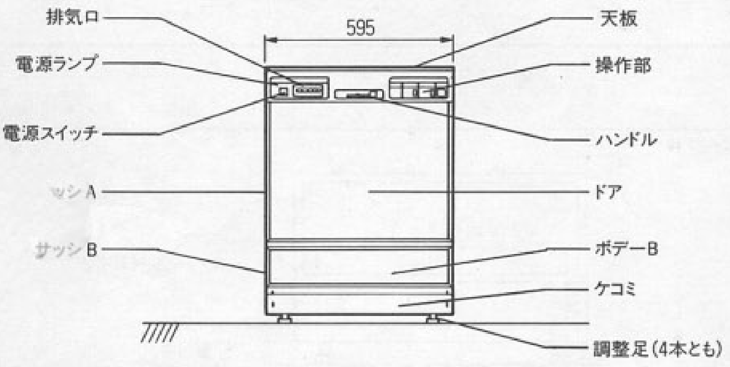
# 食器洗い乾燥機 NP-9103B 据付工事説明書

**200ボルト仕様**

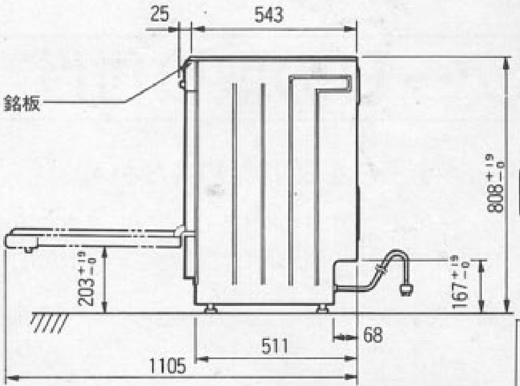
## 工事をされる方へのお願い

- 本機は建築基準法に基づく、排水管接続直結タイプです。
- 設置工事終了後、［設置工事後の点検］のチェックリストにもとづいて必ず再確認を行ってください。
- この説明書は工事完了後、取扱説明書、保証書とともにお客さまへお渡しください。
- 据付け工事に関してご不明な点は事業部にご相談ください。

## 1 名称及び寸法図（寸法単位：mm）




正面図　（図1）



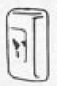
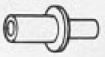
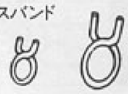
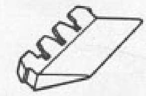
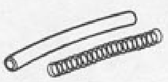
側面図　（図2）

コンセントは同梱の250V 15Aの接地極付専用コンセントをご使用ください。

## 2 付属品（同梱部品）の確認

- 設置工事を始める前に、付属品の有無を確認してください。

※専用洗剤、乾燥仕上げ剤は庫内に同梱しています。

| ご使用時に必要な付属品 | 据付け工事時に必要な付属品 | | | |
|---|---|---|---|---|
| ●専用洗剤 計量スプーン付 (300g) | ●転倒防止金具 2個 | ●タッピンネジ (小)4本　(大)3本 | ●コンセント  | ●ホースジョイント  ●ホースバンド  ●排水口パッキング (床下配管のみに使用) |
| 乾燥仕上げ剤 (90mℓ) | ●排気口カバー  | ●排水ホース(80cm) ●ホーススプリング  | ●ホースバンド　各1個 | |

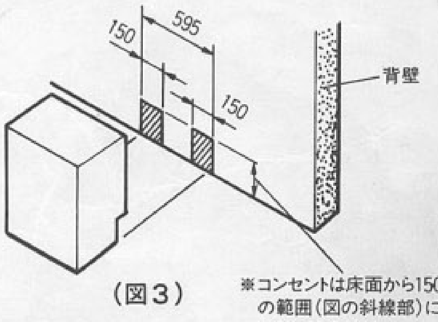
## 3 設置前のご注意

- 本機は200V仕様です。

### 1. 電源の確認

■**工事は全て電気設備技術基準に準じて行ってください。**

- 電源回路は交流単相200V、15Aの専用回路が必要です。
- 本体の電源(電圧、周波数)表示は銘板に示しています。(図2)
- 電源コンセントは同梱している250V、15Aの接地極付専用コンセントを使用してください。
- 本体を設置する場所の背壁に埋込みボックスを設け、これに電源電線、アース線を配線しておいてください。
- 給・排水管工事部分を避けて、斜線部に250V、15Aの接地極付専用コンセントを設けてください。(図3)
- アース工事は必ず行ってください。




（図3）

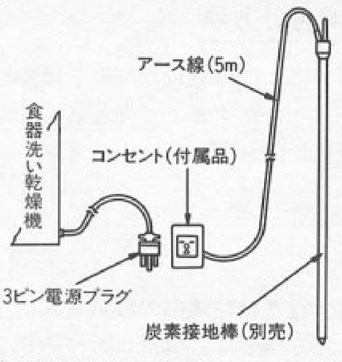
※コンセントは床面から150mmの範囲(図の斜線部)に取りつけてください。

※配管工事は全て水道法、建築基準法、貴都市の条例・規定に準じて行ってください。
※製品の機能が十分発揮されるように、この据付工事説明書の内容にそって正しく取り付けてください。

松下電器産業株式会社　洗濯機事業部
〒561 大阪府豊中市神州町1番2号
電話　(大阪06) 331ー0051番 (大代表)

## 2. アースについて

●炭素接地棒(別売：ANP3C-160)を使用される場合、アース工事は必ずお買い上げの販売店か電気工事店にご依頼ください。
(電気工事士の有資格者が第3種接地工事をするよう法令で定められています。)
●ガス管や水道管、電話や避雷針のアース線には絶対に接続しないでください。
(法令等で禁止されています。)
●設置場所の変更やご転居の際には、再度アースの取り付けをしてください。
(アース工事は有料ですのでご了承ください。)

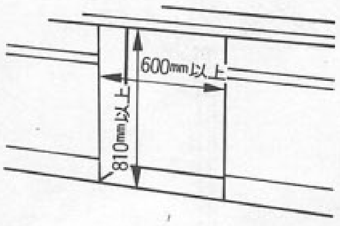


(炭素接地棒を使用される場合)

## 3. 設置場所の確認

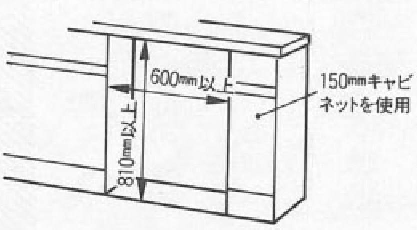
### 1. ビルトインスペースの確認

●中間にビルトインする場合



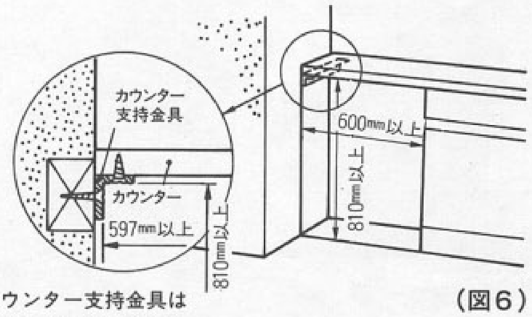
(図4)

●片側がフリーの場合



(図5)

●片側が壁面及び、トールユニットの場

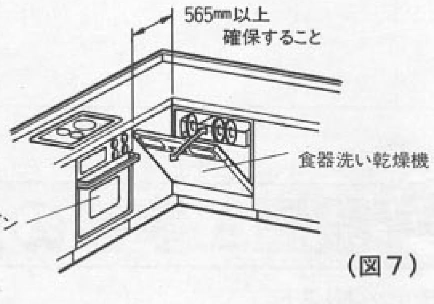


(図6)

※カウンター支持金具は別売補強部材(N-L2)又は市販のL金具をご使用ください。

(キッチン高さは850mmです)

(注)●流し台がL型配列の場合、食器洗い乾燥機をコーナー部に設置すると、オーブン等の位置によっては、本機のドアを開閉する際にオーブン等の取手部に当たったり、故障修理の際に本機が引き出せない場合がありますのでご注意ください。(図7)
●ビルトイン型ガス機器等と並べて食器洗い乾燥機を設置しますと、カウンター上に荷重をかけた時、カウンターがたわむことがありますので、カウンターの補強処置(図6※参照)を施してください。



(図7)

## 4. 配管工事の確認

**■本機は配管直結タイプですので設計及び施工工事の段階で給排水の位置決めは正確に行ってください。**

**給水側**

●水道又は、給湯のどちらにも接続できます。(給湯の場合は時間が短縮されます。)
●給水側は水道用塩化ビニルライニング鋼管を使用してください。また、給湯機に接続する場合には、耐熱仕様の塩化ビニルライニング鋼管を使用してください。
●給水側の工事後は、管内に残っている異物(切り粉など)を完全に取り除いてください。

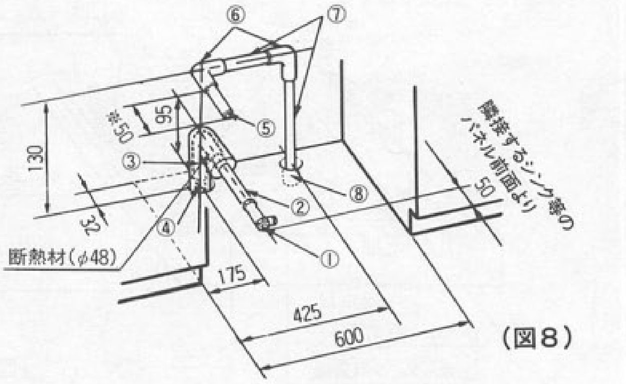
**排水側**

●排水側は必ず耐熱仕様のものを使用してください。(排水の最高温度は70℃です。)
●排水配管は呼び径20以上のものを使用してください。
●排水配管の端面をバリのないよう処理してください。配管づまりによる故障の原因となります。
●本機からの排水は排水ポンプによる強制排水となっております。排水管の接続は、洩れのないよう確実に接続してください。

**■配管工事が次ページの寸法になっているか確認してください。工事誤差は±10mmです。**

# 4. 配管工事の確認

**①床立上げの配管例(排水管を上にしてください。)**




(図8)

**給水(給湯の場合は耐熱配管)**

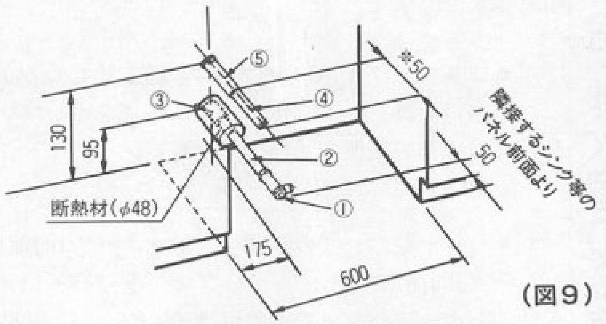
①ドライバー用アングル型止水栓
②硬質塩化ビニルライニング鋼管相当品
(フレキシブルホースでも使用できます。)
③Rc½エルボ
④硬質塩化ビニルライニング鋼管相当品

**排水(耐熱塩ビ使用のこと)**

⑤HT20相当品
⑥エルボ
⑦HT20相当品
⑧径違いソケット(40×20)

※排水管⑤の長さはキッチン奥行L＝600㎜基準です。キッチン奥行が長い場合は延長してください。

**②壁出しの配管例(排水管を上にしてください。)**




(図9)

**給水(給湯の場合は耐熱配管)**

①ドライバー用アングル型止水栓
②硬質塩化ビニルライニング鋼管相当品
(フレキシブルホースでも使用できます。)
③Rc½ソケット

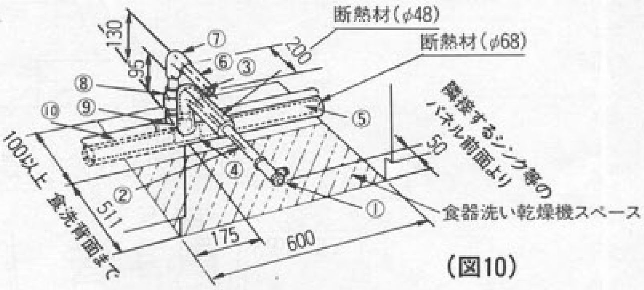
**排水(耐熱塩ビ使用のこと)**

④HT20相当品
⑤ソケット

※排水管④の長さはキッチン奥行L＝600㎜基準です。キッチン奥行が長い場合は延長してください。

**③床ころがしの配管例(排水管を上にしてください。)**

**(注)キッチン奥行L＝750㎜又は水切りによって壁面と食器洗い乾燥機背面との距離に余裕がある場合のみ可能です。**




(図10)

**給水(給湯の場合は耐熱配管)**

①ドライバー用アングル型止水栓
②硬質塩化ビニルライニング鋼管相当品
(フレキシブルホースでも使用できます。)
③Rc½エルボ
④チーズ
⑤硬質塩化ビニルライニング鋼管相当品

**排水(耐熱塩ビ使用のこと)**

⑥HT20相当品
⑦エルボ
⑧径違いソケット(40×20)
⑨チーズ
⑩VP40

**(注)●①〜③の配管例ができない場合は、6ページの2.本体外部での給・排水管接続のように、後面引き出しでの対応をお願いします。**

**●(図8)の床立上げの配管例・(図9)の壁出しの配管例・(図10)の床ころがしの配管例のいずれの配管例の場合においても、ドライバー用アングル型止水栓を必ず取り付けてください。(止水栓は閉じた状態にしておいてください。)**

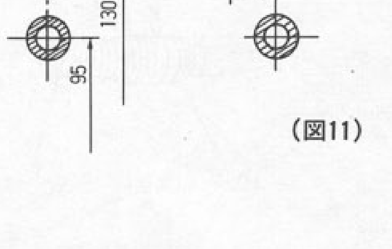
**●給水管と排水管とは左右方向にずれがないように上下に平行状態で配管してください。(図11)**

**●(図8)、(図9)、(図10)は排水本管に至るまでの接続部品(図示していない)も耐熱塩ビ管(VP)を使用してください。**

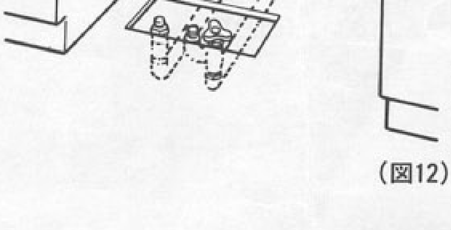
**●配管用接着剤は耐熱用を使用してください。**

**★NP-9102タイプ用の床下配管(下図に示す)の場合**

この床下配管をそのまま使用し、設置できます。
(設置方法は7ページの3.項を参照ください。)




(図11)



(図12)

## 4. 配管工事の確認

**給湯接続の場合の給湯機の確認**

**●給湯接続の場合は石油給湯機、中型以上の深夜電力利用温水器、10号以上の先止め式湯沸器等で70℃以下の温度に調整可能な機器に接続してください。**

**(注)●小型深夜電力利用温水器、元止め式湯沸器からの配管は絶対にしないでください。**

**●この食器洗い乾燥機の給水圧力は0.03〜1MPa{0.3〜10.0kgf/cm²}の範囲でご使用ください。**

**●特に高水圧地域では給湯機に所定の減圧弁を必ず取り付けてください。**

## 5. パネル(化粧板)の取り付け

**パネルを取り付ける場合は下記に準じて行ってください。(パネルは別売です。カタログを参照ください。)**

**■ボデーBへのパネル取付手順**

①図Aのように左右2ヵ所のネジを取り外し、ボデーBを少し上に持ち上げるようにして取り外してください。

②図Bのように7ヵ所のネジを外してボデーBについているサッシを外し、別売パネルをはめてから再度サッシをはめ込み、ネジを締め付けてください。

●ボデーBは後の配管のため外したままにしておいてください。

**■ドアへのパネル取付手順**

①事前にボデーBを取り外しておいてください。

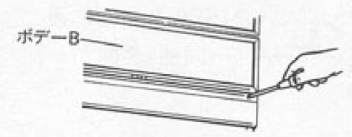
②4ヵ所の左右ネジを取り外して、左右のサッシをフリーにしてください。(図C)

**(注)サッシは大きく開かないようにしてください。(折れ防止のため)**

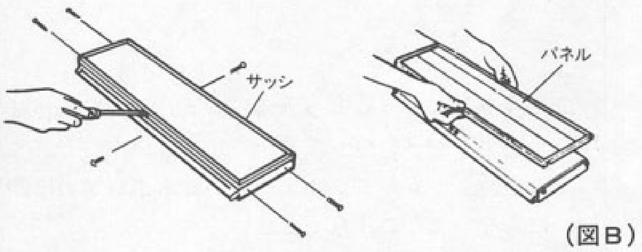
③3ヵ所の下部ネジをゆるめて、サッシ全体を前へ若干、引き出してください。(図C)

④パネルをドア上部の溝部に挿入し、下部のサッシとドアのスキマにはさみこんでください。(図D)

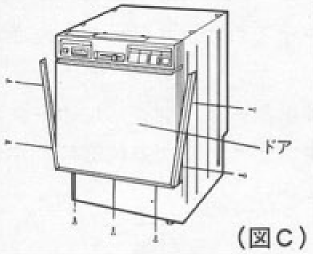
⑤左右のサッシとドアの間にパネルをはさみ、左右および下部のネジ7本を締め直してください。



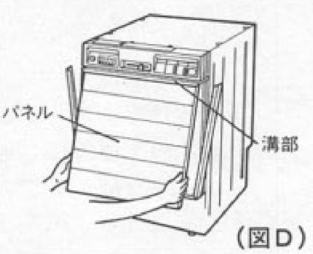
(図A)



(図B)



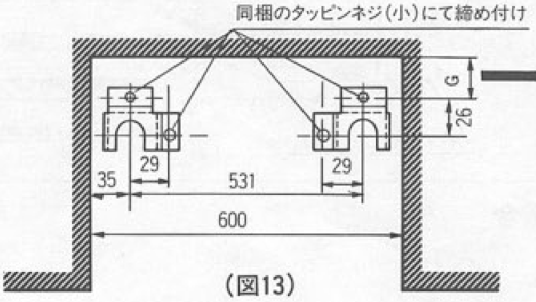
(図C)



(図D)

## 6. 転倒防止金具の取り付け

●転倒防止金具は安全のため必ず取り付けてください。

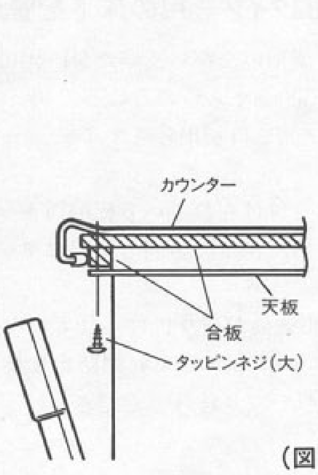


(図13)

| | G 寸 法 |
|---|---|
| カウンターの奥行750mmに設置の場合 | 250mm |
| カウンターの奥行600mmに設置の場合 | 100mm |

●コンクリート床面など転倒防止金具の取り付けが困難な場合は図14のように食器洗い乾燥機のドアを開いてカウンター合板部分へ直にタッピンネジ(大)3本(同梱)で固定することもできます。(但し、人工大理石カウンター等は出来ません。)

**(注)すでにご使用中のNP-9102タイプの転倒防止金具は使用できません。お手数ですが同梱の転倒防止金具に取り換えてください。(7ページ参照)**

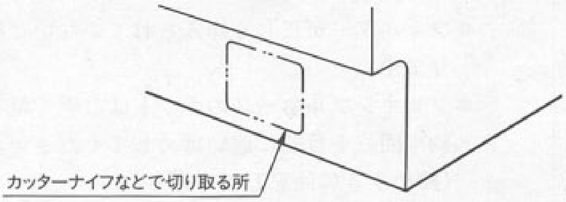


(図14)

# 4 本体の設置

## 1. 本体のビルトイン

**1. 本体後面下部の開口予定部分を
カッターナイフなどで切り取ります。**(図15)



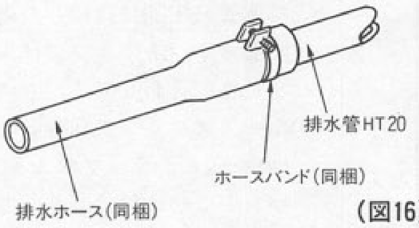

(図15)

**2. 給・排水管の接続工事のため、予めボデーBは取り外しておいてください。**

（4ページの図Aを参照してください。）

**3. 排水ホースを排水管に接続します。**(図16)

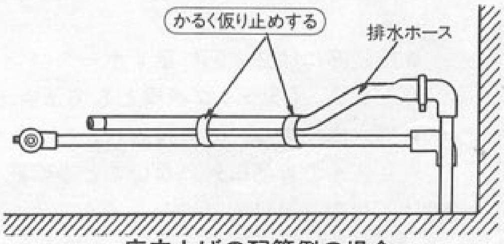
排水ホース(同梱)を、排水管ＨＴ20に挿入し、ホースバンド(同梱)を締め付けてください。




(図16)

**4. 配管を仮り止めします。**

ビルトイン作業時に排水ホースを通しやすいようにするため給水管へ図17のようにビニールテープ等でとめてください。




(図17)

**床立上げの配管例の場合**

**5. 電源コードを接続する。**

電源が200Ｖであることを確認してから、専用コンセントに電源プラグを差し込んでください。

**6. 本体をビルトインします。**(図18)

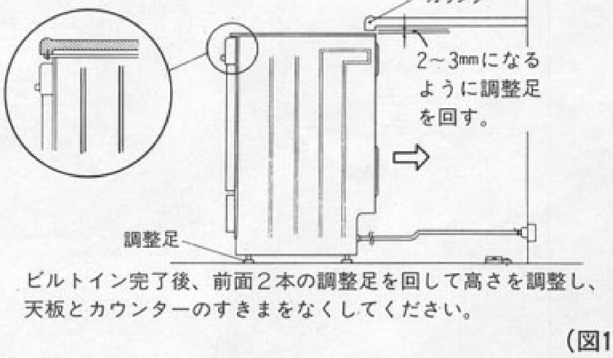
隣接する機器等に注意をし、給水管、排水ホースの先を図15で切り取った開口部から挿入するようにして、本体の下方をゆっくりと押しながらビルトインしてください。

**(注)● 床面の凹凸により調整脚に無理な力がかかり、スムースにビルトインできないことがありますので予めご確認ください。**

**● ビルトイン作業のとき排水ホース、給水管、電源コードをキズつけないようにしてください。**

**● 図15で切り取った開口部のバリ、エッジに十分注意してください。**

天板をタッピンネジ(大)で
カウンターに取付ける場合




ビルトイン完了後、前面２本の調整足を回して高さを調整し、天板とカウンターのすきまをなくしてください。

(図18)

## 2. 給・排水管の接続

### 1. 本体内部での給・排水管接続　(図19)

①本体のフレキシブルホースにテープ止めされているフィルターをフレキシブルホースに挿入し、フレキシブルホースをドライバー用アングル型止水栓に締め付け、接続してください。

**(注)● 給水管に残っている異物(切り粉など)は完全に取り除いてください。**

**● フィルターが正しく挿入されていないと故障の原因となります。**

**● フレキシブルホースのナットは、手で軽く締め込んだ後、約半回転を目安に追い締めしてください。(締めすぎに注意してください。)**

②排水ホース(本体)を接続したトラップは、事前に台枠のツメ嵌合部(図20)にはめ込んでいますので、外れていないことを確認してください。

③排水管ＨＴ20に接続した排水ホース(同梱)を適当な長さに切断します。(トラップに挿入した際に排水ホースが折れない様な長さに合わせてください。)

④ホーススプリング(同梱)を挿入したのち、ホースバンド(同梱)を通しトラップのストッパーに当たるまで挿入し、ホースバンドで締め付けてください。(図21)

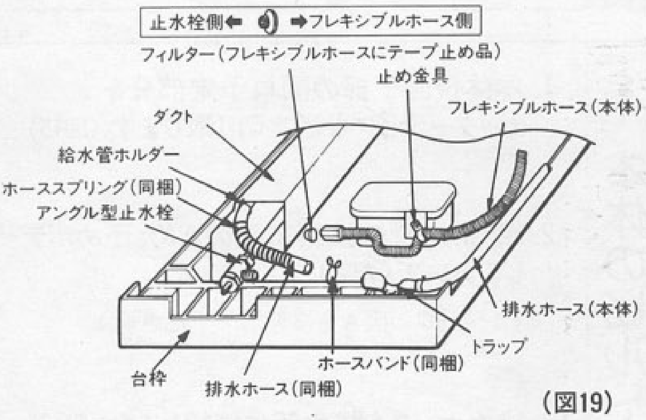
⑤排水ホースに挿入したホーススプリングを排水ホースの曲がり部にセットします。(図19)

**(注)● トラップを本体から外した場合は、かならず元の位置にはめ込んでください。(トラップ機構として法令上必要です。)**

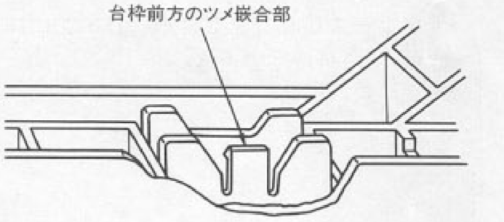
**● 接続部には必ず図に示すホースバンド(同梱)をはめてください。(トラップ機構として法令上必要です。)**

**● 排水ホース(同梱)を接続した後、トラップが台枠にはまり込んで容易に外れないことを確認してください。**

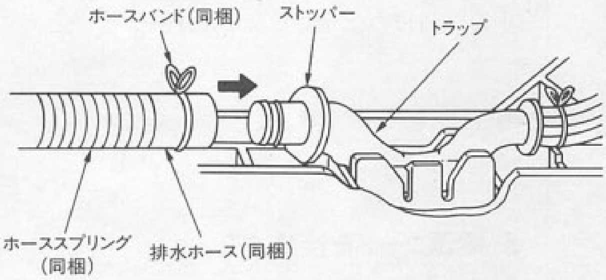
⑥ダクトに取り付けられている給水管ホルダーで排水ホースおよび給水管を保持してください。(図22)



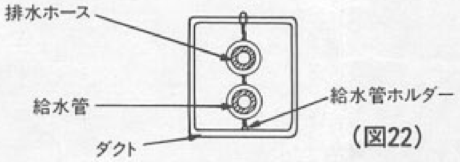

(図19)




(図20)




(図21)



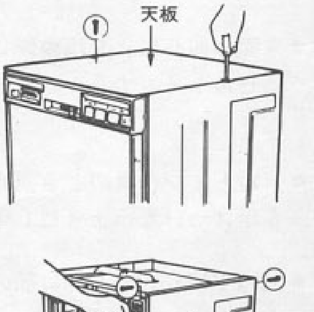

(図22)

### 2. 本体外部での給・排水管接続(別売の排水ホースキットANP211-1550が必要です。)

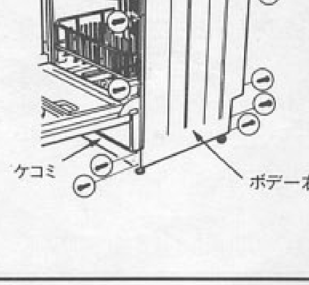
**以下の要領で後面引き出しでの対応をお願いします。**

①図23のように2ヵ所のネジを外して、天板を取り外してください。

②図24のようにケコミの左右4ヵ所のネジを外して、ケコミを外し、9ヵ所のビスを取り外してボデーの右側の面を外してください。




(図23)




(図24)

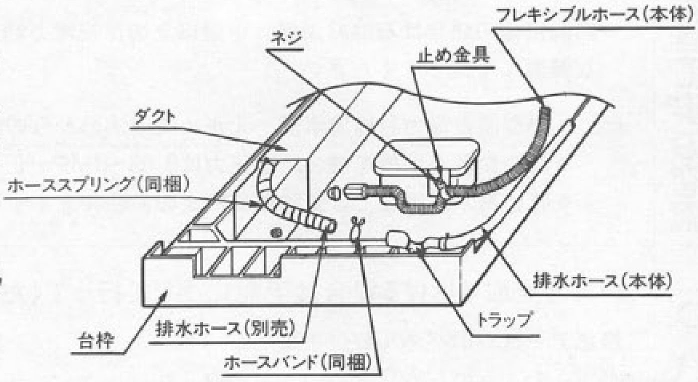
## 2. 給・排水管の接続

③●フレキシブルホース(本体)を固定している止め金具のネジを外し、フレキシブルホースをフリーにしてください。

●6ページの1-②の確認後排水ホース(別売)にホーススプリング(同梱)とホースバンド(同梱)を通し、トラップのストッパーに当るまで挿入しホースバンドで締め付けてください。(図21)

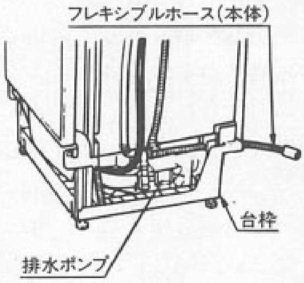
**(注)排水ホース(別売)を接続した後、トラップが台枠から容易に外れないことを確認してください。**

●排水ホース(別売)をダクト内に通し、台枠の後方へ出し、ホーススプリング(同梱)を曲がり部にセットしてください。(図25)



(図25)

④図26のようにフレキシブルホース(本体)を台枠後方から引き出してください。
この時、フレキシブルホースが排水ポンプの冷却ファンに当たらないようご注意ください。



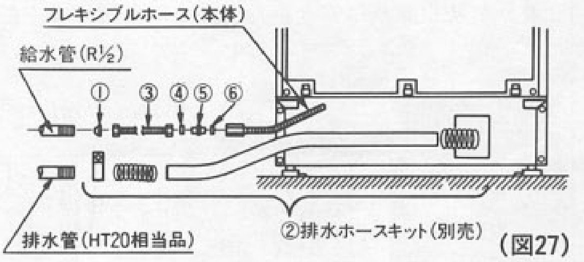
(図26)

⑤外した天板、ボデーを元どおり取り付けてください。

⑥台枠後方より出した排水ホース（別売）にホーススプリング(別売)を挿入し、排水ホースが曲がる位置に、ホーススプリングを移動させてください。

⑦図27に示すような部材を用いて給水管、及び排水管への接続を行なってください。

| 同　　梱 | 別　　売 | 現地調達 |
|---|---|---|
| ①フィルター(フレキシブルホースにテープ止め) | ②排水ホースキット（ANP211-1550） | ③フレキシブルホース<br>④パッキング<br>⑤ニップル(R½)<br>⑥パッキング |

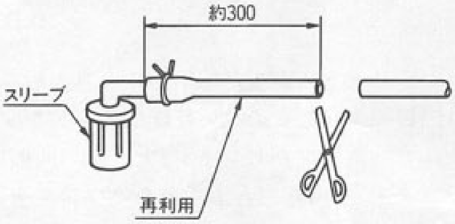


(図27)

## 3. NP-9102タイプ等用の床下配管がすでになされている場合

①今までご使用いただいていたNP-9102等の排水ホースを先端部より、300㎜ぐらいのところで切ってください。
(スリーブ側を再利用します。)

②床面に取り付けられている転倒防止金具は使用できません。
同梱の転倒防止金具を同じ位置にタッピンネジで取り付けてください。
(転倒防止金具が取り付けられていなかった場合は、4ページの図13のように必ず転倒防止金具(同梱)をタッピンネジ小(同梱)で取り付けてください。)



(図28)

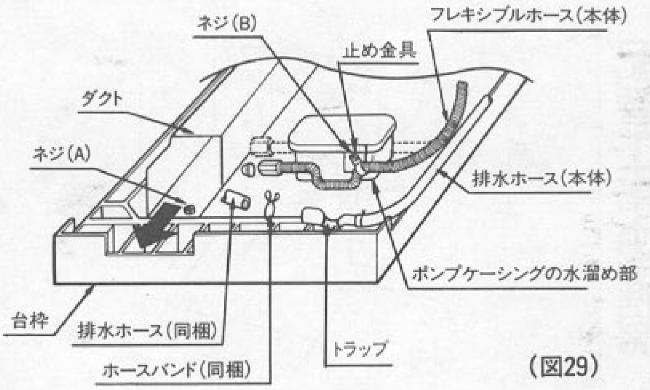
# 2. 給・排水管の接続

③● ダクトを台枠に固定しているネジ(A)を外し、ダクトを前方に引き抜いてください。(ダクトは使用しませんので処分してください。)

● フレキシブルホース(本体)を固定している止め金具のネジ(B)を外し、フレキシブルホースをポンプケーシングの水溜め部の後側を通してください。
(止め金具は使用しませんので処分してください。)

● 6ページの1-②の確認後、排水ホース(同梱)にホースバンド(同梱)を通し、トラップのストッパーに当たるまで挿入しホースバンドで締め付けてください。(図21)

**(注)排水ホース(同梱)を接続した後、トラップが台枠から容易に外れないことを確認してください。**



(図29)

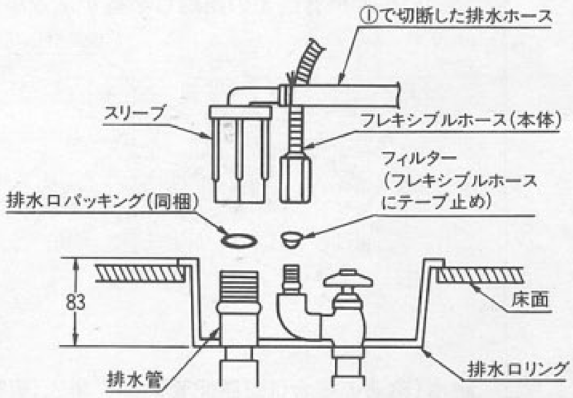
④電源が200Vであることを確認し、専用コンセントに電源プラグを差し込んでからビルトインしてください。

⑤フレキシブルホース(本体)にテープ止めされているフィルターをフレキシブルホースに挿入し(図30)、フレキシブルホースを止水栓に締め付け、接続してください。

(図30)

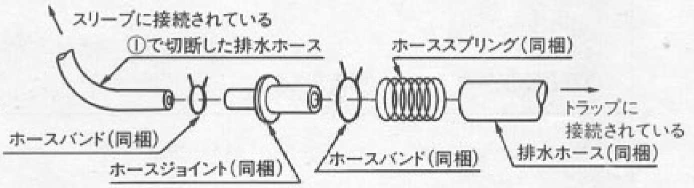
**(注)フレキシブルホースのナットは手で軽く締め込んだ後、約半回転を目安に追い締めしてください。
(締めすぎに注意してください。)**

⑥①で切断した排水ホースのスリーブに、排水口パッキング(同梱)を挿入し、排水管にしっかりと締め付けて接続してください。(図31)



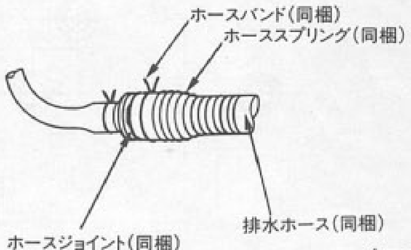
(図31

⑦①で切断した排水ホースと、トラップに接続した排水ホース(同梱)を適切な長さに切り、ホーススプリング(同梱)を排水ホース(同梱)に通し、同梱のホースジョイントにより接続し、両接続部をホースバンド(同梱)で締めてください。(図32)



(図32)

**(注)排水ホース(同梱)の折れ防止のため、ホーススプリングをホースバンド締め付け部までいっぱいにかぶせておいてください。(図33)**



(図33)

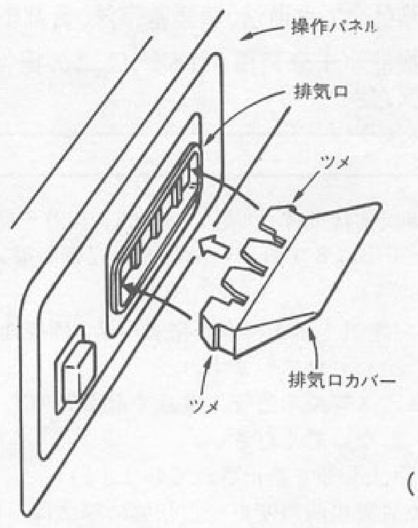
## 3. 排気蒸気の結露防止

### ■排気口カバーの取り付けについて

図34、図35のようにカウンターに直接蒸気が当たらないよう、排気口にカバーを取り付けてください。

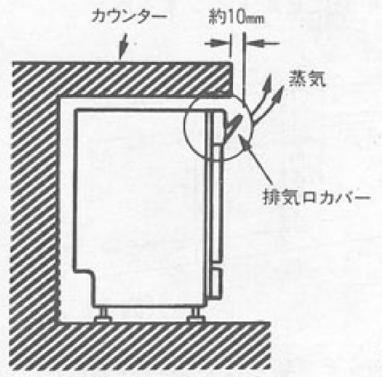
**取り付け方法**

図34のように排気口カバーを操作パネルの排気口穴にはめ込み、パチンと音がするまで押し込んでください。2ヵ所のツメが排気口穴に入り込み固定されます。




(図34)

**(注)食器洗い乾燥機の排気口穴から出た蒸気がカウンターに当たる場合は、排気口カバーをご使用になり、カウンターからの出代が10㎜程度になるように設置してください。ご使用されませんと、カウンターの材質によっては、腐食する恐れがあります。**




(図35)

# 5 設置工事後の点検

●チェックリスト

| 点検 | | 点検内容 | 参照項目 | チェック |
|---|---|---|---|---|
| 機器及びその周辺 | 電源(電圧・周波数) | 銘板表示と使用電源が適合していますか。 | 3の1 | |
| | ドアの開閉 | 他の機器への障害はありませんか。 | 3の3 | |
| | 排気口カバーの装着 | アンダーカウンターにビルトインする場合、カウンターの最前部より10㎜程度出ていますか。 | 4の3 | |
| 給水・排水接続 | 給湯機との接続の場合 | 指定する給湯機に接続されていますか。 | 3の4 | |
| | フィルター | フレキシブルホースと止水栓との接続部にフィルターを挿入しましたか。 | 4の2 | |
| | 排水ホース | 排水管との接続部は確実に接続したことを確認しましたか。<br>また押しつぶされたり、無理に折れ曲ったりしていませんか。 | 4の2 | |
| 電気接続 | | 電源コンセントは専用回路で、電源プラグは250V 15Aの接地極付専用コンセントに接続しましたか。 | 3の1 | |
| | | アース工事は行いましたか。 | 3の2 | |

# 6 試運転

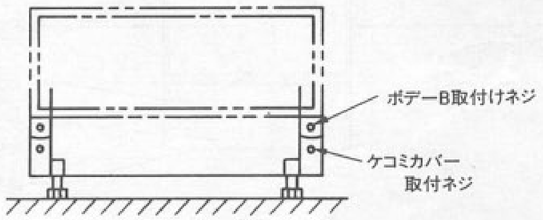
**■取扱説明書にもとづき、試運転を行なってください。なお、次の手順で試運転を行なうと短時間で行なうことができます。**

①止水栓を開きます。
②ドアを閉じます。(ハンドルを「閉」の位置までいっぱいに動かしてください。)
③「電源スイッチ」を「入」にします。
④「コースセレクト」ボタンを押して「すすぎのみ」コースを選んでください。
⑤「スタート／一時停止」ボタンを押してください。(「すすぎのみ」コースが開始し、約8分間で終了します。)
⑥次の確認を行なってください。
- 一定量の水が入ればシャワーを噴射しながら庫内のノズルが回転します。
  (噴射音:バシャバシャ音が聞かれるか確認してください。)
- 運転が終了しますとブザーが鳴りますので、終了後「電源スイッチ」を「切」にしてドアを開け、庫内の水が排水されていることを確認してください。(残菜フィルターを外した時、底部に残水がありますが異常ではありません。)
- 運転中給排水接続部からの水もれがないかを確認してください。

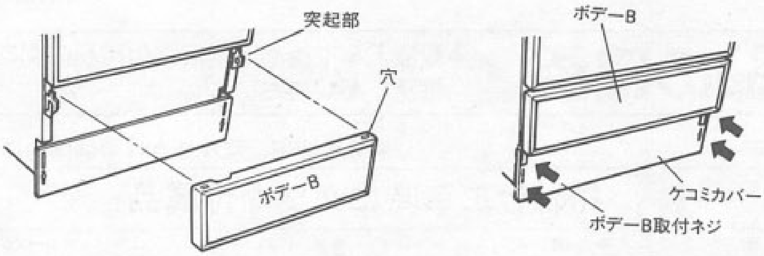
# 7 ボデーBの取り付け

**■ケコミカバー、ボデーBを取り付けてください。**

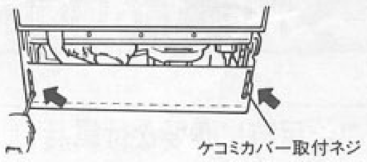
- 図36のケコミカバー取付けネジ2本(左右)を外してケコミカバー(同梱)を床下まで下げて締め付けてください。(図37)
- ボデーBは上部の穴を本体の突起部にはめ込んでから下部をネジ止め(2本)してください。(図38)




(図36)




(図38)




(図37)

# 8 お客様への取扱説明

①取扱説明書によって製品の取扱いを説明してください。
②保証書に必要事項を記入のうえ、保管のお願いをしてください。

MEMO